

すこやかちゃん



響ちゃん (平成18年1月14日生)
両親／矢田部努・廣子さん〔江ヶ崎〕
「僕の名前は響です。大好きなお父さんとお母さんが付けてくれた。」



千景ちゃん (平成16年11月15日生)
両親／伊藤貴一郎・貴子さん〔イ〕
「ちいたんいたずらだーい好き♡」



慎一郎ちゃん (平成17年2月19日生)
両親／鈴木勝也・和美さん〔二〕
「はじめまして慎一郎です。
えびせんおいしいナ…♡」

* すこやかちゃんを募集しています *

掲載ご希望の方は、秘書広報課広報広聴班（〒289-2595旭市二の1920・☎62-8070）へ。
対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、保健センター、海上保健センター、飯岡保健センター、干潟保健センター、秘書広報課にあります。



田の神

紙上展示室―旭モノ語り―第十一回

田んぼの片隅や道端で、ふと小さな祠や石塔を目にすることがあるかと思えます。数が多い庚申塔や道祖神、目につきやすい道標がおなじみでしょう。今回はそんな石造物の中からあまり知られていない少数派の「田の神」を紹介します。

田の神は、五穀豊穡の神様といわれています。春分・秋分にもつと近い戌の日を社日（しゃにち）または「しゃじつ」といって、古くから祭礼をする節目とされてきました。そのため、春は豊作祈願、秋は感謝祭と、年中行事としても定着し、地元の神様とともにまつるようになり、それが社日様、田の神と呼ばれるようになっていくのです。この石塔、社日塔と呼ぶところもあります。

が、たいてい五角形か六角形の石柱の形状をしており、田んぼの隅や境内の隅にまつられています。さて、市内では海上地区にだけこの神様がいます。大間手の大杉神社にある石塔を見てみましょう。境内の中の小さな鳥居の奥に、五角形の田の神が見えます。そのそれぞれの面には、天照大神・少彦名命・埴安媛命・倉稲魂命・



大己貴命の神名が刻まれています。その素朴な外見にもかかわらず、伊勢の神様、出雲の神様、お稲荷様、国造りの神様、土の神様と、豪華メンバーの五名をいっぺんに取り揃えた何とも欲張りな石塔ではありませんか。社日には土には手を触れず、仕事を休みにするという習慣があります。この五神がついていけば、なるほど安心して休めるというものです。

この五角柱、残念ながら建立年代は不明です。おそらく江戸後期のものではないでしょうか。幾世の県道沿いにあるものは、大小の鳥居とともに立派な台座、囲い、ともに五角形にあつらえられています。この地域を守る、小さいけれど大きな神様です。

〔大原幽学記念館 猪野映里子〕

暮らしのカレンダー

- 1日(木) 人権擁護委員の日
水道週間（～7日(水)）
- 4日(日) 消防団実戦操法大会 (8:00～ ふれあい広場)
歯の衛生週間（～10日(土)）
- 15日(木) 県民の日
- 18日(日) 父の日

編集後記

月明かりに照らされて帰宅することが時々あります。月の光はか細く弱い光で、太陽のようにすべてを明るく照らし出すような光ではありません。しかし、たとえ弱くても暗闇をほんのり照らすその光は、やさしく慈愛に満ちた輝きを放っています。太陽も月もそれぞれの輝き方で光を放っています。仮に月が太陽のような明るさを持っていたら、それはもう月ではなくなってしまうかもしれません。ひとりの輝き方にも、同じことがいえると思います。（一）